

DMG森精機株式会社

東京グローバルヘッドクォータ
〒135-0052 東京都江東区潮見 2-3-23
TEL: 03-6758-5900 (代)

株式会社マグネスケール

東京本社
〒135-0051 東京都江東区枝川 3-1-4
TEL 03-6632-7920

Press Release

2022年2月10日

DMG MORI はグループ会社 株式会社マグネスケール 伊勢原事業所内に半導体レーザー工場を新設します

DMG MORI(以下、当社)とグループ会社である株式会社マグネスケール(以下、(株)マグネスケール)は、2023年6月の完成を目標として、(株)マグネスケール神奈川県伊勢原事業所内に、計測用の半導体レーザーの開発、および生産を目的とした工場を新設します。

(株)マグネスケールでは、ピコメートル・レベルの分解能を持つエンコーダであるレーザースケールおよび工作機械に搭載するマグネスケールをはじめとした計測機器の開発・製造・販売をしています。レーザースケールの主な市場である半導体製造・検査装置では、集積度アップのため、更なる微細化や三次元化への重ね合わせ精度の必要性から、スケールの高精度要求が更に高まり、需要も年々拡大しています。脱炭素社会に向けた発電タービンの高精度化にもレーザースケールが貢献しており、(株)マグネスケールの計測機器に用いる半導体レーザーの必要数量は2025年には年間10万個と予測しています。

そこで、需要が増加する将来に向けて、また高精度化の要求に応えるため、計測用半導体レーザーの自社開発および内製化に踏み切ることを決定しました。2024年の操業を目指し、伊勢原事業所内に半導体レーザーの開発・試作・製造を行うための施設を建設します。

また、(株)マグネスケールでの計測用半導体レーザーの開発・製造の知見を、将来的に当社の金属積層造形機やレーザー加工機に搭載する加工用高出力半導体レーザーの開発・製造に展開させることを検討しております。

◆ 新設工場の概要

所在地	: 神奈川県伊勢原市鈴川 株式会社マグネスケール 伊勢原事業所内
建築面積	: 450 m ²
延床面積	: 918 m ²
操業開始	: 2023年6月 建物完成、2024年1月操業開始
総投資額	: 約30億円

DMG森精機株式会社

東京グローバルヘッドクォータ
〒135-0052 東京都江東区潮見 2-3-23
TEL: 03-6758-5900 (代)

株式会社マグネスケール

東京本社
〒135-0051 東京都江東区枝川 3-1-4
TEL 03-6632-7920

◆株式会社マグネスケール概要

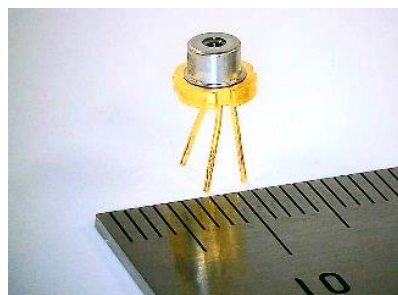
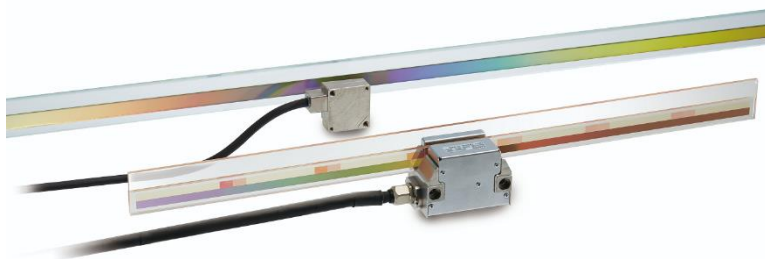
会社名	: 株式会社マグネスケール
設立	: 2010年3月31日
本社	: 東京都江東区枝川3丁目1番4号(DMG MORI 東京デジタルイノベーションセンター)
代表者	: 代表取締役社長 藤森 徹
資本金	: 10億円
主な事業内容	: 計測機器の製造、販売

1969年8月に、ソニーマグネスケール株式会社として創業。磁気とレーザ光を検出原理とした高精度位置検出システムを、工作機械や産業機器などの分野に半世紀にわたり提供し続けている。

2010年より、株式会社マグネスケールとしてDMG 森精機株式会社のグループ会社となる。磁気を検出原理を利用したマグネスケールは結露や油、振動など過酷な環境下での計測に強く、工作機械や産業機械に多く採用される。レーザ光の検出原理を持つレーザスケールは、最高 2.1ピコメートルという世界最高レベルの分解能を達成し、特に極精細化の進む半導体製造・検査装置に多く用いられている。



半導体レーザ生産工場の完成予想図



レーザスケールと半導体レーザ